



長岡崇徳大学研究倫理委員会主催

看護研究における 利益相反を学ぶ

—研究の場面から—



日時

2022年
3月2日 水 14:30-16:00

講師

稲葉 一人 先生
(中京大学 法務総合教育研究機構
教授)

対象者

長岡崇徳大学教職員、学生
地域の看護職の方々

開催方法

Zoomによるオンライン研修

学内者はポータルサイトにてIDを通知します

学外者は申し込みの際、IDを通知します

申し込みは、Emailにて、所属、職種、氏名をご記入の上、
下記アドレス宛てに送付してください。

お問い合わせ
申し込み先

長岡崇徳大学事務局 総務課

TEL: 0258-46-6666(代表)

E-mail soumu@sutoku-u.ac.jp

講 師

稲葉 一人 先生

(中京大学法務総合教育研究機構 教授)

【御略歴】

司法試験合格後、大阪・東京地裁の判事・判事補、法務省検事等を歴任される。米国留学、京都大学大学院修了を経て、久留米大学医学部と熊本大学大学院社会文化研究所客員教授等を歴任され、現在、中京大学法務総合教育研究機構教授としてご活躍。

【主な著書】

- これって個人情報なの？意外と知らない実務の疑問(第2版), 税務研究会出版局, 2020. 共著.
- ケースから学ぶ高齢者ケアにおける介護倫理(第2版), 医歯薬出版, 2019. 共著.
- ナースの“困った！”にこたえる こちら臨床倫理相談室: 患者さんが納得できる最善とは, 2017. 共著.
- 摂食嚥下障害の倫理, ワールドプランニング, 2014. 共著

ほか、多数

本研修の目標

- (1) 研究の公正的な視点から利益相反とは何かを理解できる。
- (2) 利益相反が生じやすい内容を理解できる。
- (3) 看護研究における利益相反を理解できる。

講師の稲葉先生は、看護と法や倫理に関わるご著書も多く、「看護研究」の場面で生じやすい「利益相反」についてご講演いただく予定です。